

打って一丸となつてストライキへ



動労千葉

1988.5.7
No. 2809

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

全組合員の力を出し合い スト方針を貫徹しよう！

第十四回臨時大会は、強制配転、不当処分、兼務外し、組合脱退強要をはじめとした動労千葉の絶滅を狙った組織破壊攻撃に全支部、全組合員のスト体制をもって反撃する方針を決定し、スト権批准投票一〇〇%のスト体制を構築した。われわれは、「分割・民営化」以降も続く、すべての問題に差別をもちこみ、労働者の魂まで奪おうとしているJR当局・革マル鉄道労連を断じて許さない。今号は、大会代議員の怒りの声（要旨）を中心に掲載します。



滝口代議員（幕張支部）

動労千葉がじつと一年間たえてきて、反撃する時期がきた。解雇者、清算事業団、強制配転された仲間、そして現場に残っている仲間、この四者が一体となつて、何故闘わなければいけないのかということをとらえ直して立ち上ろう！

今回私も配転されて、先に配転された仲間の苦勞を新ためて実感した。

このようななかで現場に残された仲間も大変だが、仲間を信じ合つて立ち上ろう！自分さえよければという考えは、結局自分の首をしめることになる。動労千葉への信頼と、そしてなによりも当局への怒りを燃やし、長期戦を構えて闘えば絶対に勝てる。



永島代議員（幕張支部）

四月二四日、青年部長会議でスト方針を打ち出した。動労総連合、国労の仲間も四月ストライキで全国三〇〇〇名の仲間が立ち上った。国労の中でもやればできるという声があがっている。内房協議会は赤羽根さんを中心に、第一回の会合をもつ計画だ。幕張支青も青年部長の配転に対し、新体制を確立した。青年部を中心に決起していく。



佐藤代議員（幕張支部）

スト方針をまちこがれていた。このストは勝利に向かって闘う出発点だ。これから生きる権利を獲得するために闘おう！

一〇〇名近くの強制配転、駅にして三七駅、線見阻止闘争を上回るたたいをつくりあげよう！私も人活センターに配転されて以降、二年になるけれども、現場に帰る闘いは自分自身が自分の闘いとしてやる以外にない。ストの先頭にたつ。



白井代議員（幕張支部）

七五〇名の組合員がスト方針をひとつのものにしていくことが重要だ。現場では、強制配転に対しても、賃金の銀行振り込みに対しても弱気になつている組合員がいる。本部のきめこまやかな指導を期待する。



宮内代議員（佐倉支部）

支部としてもいつでもどこでもストを打てる体制をつくりあげたい。四月下旬、物販オルグに行つたけれど、「ストで闘ってほしい」と激励された。河野をはじめとした攻撃に怒り、憎しみを反撃に転じていく。

今春闘での貨物、旅客 賃金格差を許さない。



綾部代議員（津田沼支部）

職場を離れ、財政基盤のために闘っている。いま、動労千葉は十一支部をこえて営業にも組織が拡大された。ストに突入したら、動労千葉の組合員がかわるがわるおしかけていく闘いを貫徹しよう！ 解雇者もかけつける。



渡辺代議員（乗務員分科）

営業協議会ができたことは大変に喜ばしい。この間、駅において国労との共闘をつくりあげ

るために奮闘している。銀行振り込みについては、銀行のないところに住んでいる人もいる。絶対反対で取り組んでほしい。乗務員分科も、安全無視の実態調査を強化して、河野らの安全無視を暴いていきたい。